

個人開発者向けWebサービス運用フレームワーク Trinity

表現駆動コース グループZ 大橋滉也 大森貴通

Concept

個人開発者のWebサービス運用に関わる面倒を取り除く

Background

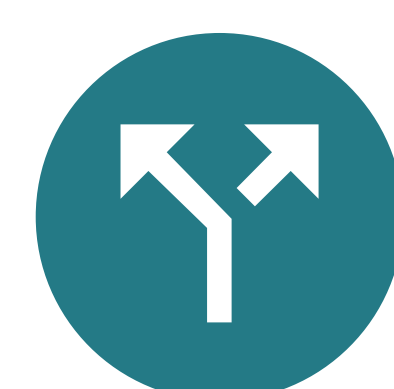
- SaaSやOSSの増加
⇒ 企業でのWebサービス運用の自動化・高機能化
- 個人運用のWebサービス
⇒ 手動作業が多数存在することも

快適な運用環境構築には
多数のシステムの導入が必要

学習・導入に必要な時間や費用が
個人開発者の壁に

Solution

3つのミドルウェア機能をコアに
自動化機能をシングルバイナリに集約



リバースプロキシ

ルーティング・SSL終端などを担う



CDツール

デプロイプロセスの自動化



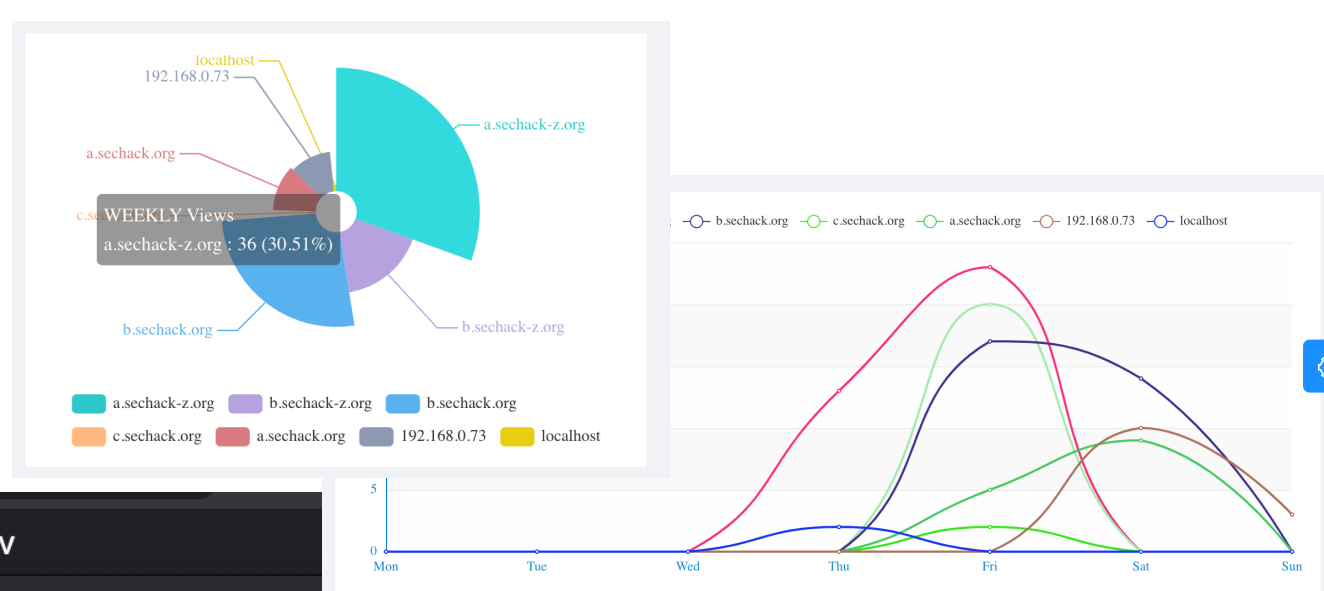
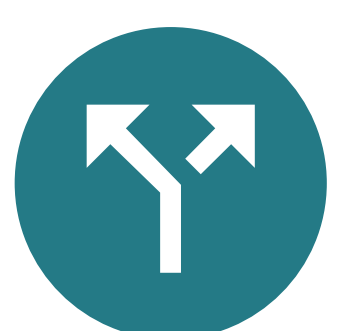
サービス監視

サービスの動作を監視・アラート

Web UIから設定管理可能⇒扱いやすく
シングルバイナリで提供⇒導入しやすい

Trinityだけで様々な自動化が可能に
SSHでサーバーにログインして...からの開放

Function



- 標準的なリバースプロキシ機能
- Web UIでログの可視化
- SSL証明書の自動取得・管理
- 特定のパスへのアクセスの通知



- 設定に1行追加のみで完了
- GitHubのWebhookを受け自動デプロイ

```
1 targets:
2 - proxy: localhost:9092
3   host: a.sechack.org
4   https: false
5   forcehttps: false
6   default: true
7   repository: "https://github.com/SECHACK-Z/trinity"
```



- サービス死活やユーザー指定のイベントに関する情報をSlackなどに通知

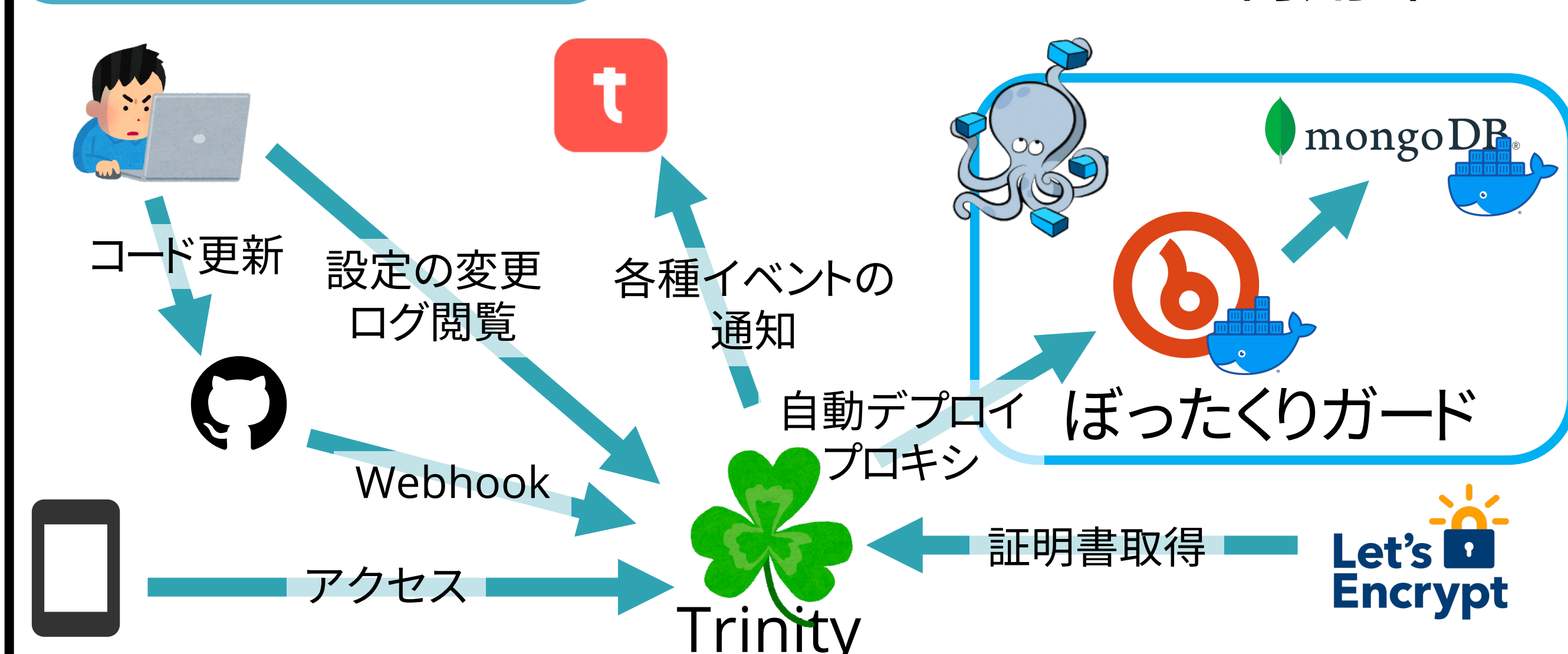


Security

- 自動HTTPS・ログ可視化
⇒ 日常的なセキュリティ対策
- サービス監視・アラート
⇒ 問題発生 of 早期発見
- CD機能
⇒ 素早い問題の修正

Example

表現駆動コース グループB
ぼったくりガードで利用中



Future

- UI/UXの改善
- 初心者向けドキュメント・機能追加
- Cloud Native Buildpackによるデプロイ

Repository

<https://github.com/SECHACK-Z/trinity>